

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第1～6学41組～8組

使用教科書：（新編現代の国語（東京書籍））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活において、必要となる国語の特質を理解し、適切に使うことができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活において、批判的思考を働かせて自分の思いや考えを広げたり深めたりし、伝えることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉の価値を理解して言語感覚を磨き続けるとともに、言葉を通じて他者と関わり、思いや考えを深めていこうとする態度を身に付けている。

科目 現代の国語 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|------------------------|---|--|
| 実生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 | 論理的に考えることや想像したり批判的にとらえる力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 | 言葉の価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 時 数 |
|---|---|-------------|-------------|-------------|--|---|---|---|-------------|
| | | 語 ・ 聞 | 書 ・ 読 | 読 ・ 書 | | | | | |
| A 単元「文と文の関係（情報同士の関係）を考える」 【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。〔(1)オ〕 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。〔(1)カ〕 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。〔(2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。 | ・指導事項：文と文の関係・パターン、文章から関係を読み取る（『美しさの発見』） ・教材：スライド、ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用等：LMS上のレポート学習、参考資料ファイル・動画の配信 | ○ | | | 【知識・技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔(1)オ〕 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解して使っている。〔(1)カ〕 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもち、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| B 単元「論理的に意見を書く」 【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。〔(1)ア〕 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。〔(1)オ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。〔(2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。〔B(1)イ〕 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。〔C(1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。 | ・指導事項：論理の見極め、論構成、論作文 ・教材：スライド、ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用等：LMS上のレポート学習、参考資料ファイル・動画の配信 | ○ | ○ | | 【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔(1)オ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔(2)イ〕 【思考、判断、表現】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。〔B(1)イ〕 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。〔C(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 学習の見通しをもち、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|--|--|--|---|
| <p>C 単元「推論の方法」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。〔(1)エ〕 ・推論の仕方を理解し使うこと。〔(2)ウ〕 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。〔C(1)ア〕 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。</p> | <p>・指導事項：推論の考え方（演繹・機能・仮説形成）、文章からの読み取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材：スライド、ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用等：LMS上のレポート学習、参考資料ファイル・動画の配信 | | | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)エ〕 ・推論の仕方を理解して使っている。〔(2)ウ〕 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>学習の見通しをもち、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。</p> | | | | | 3 |
| <p>定期考査</p> | | | | | | | | | |
| <p>D 単元「情報を関連付けて自分の意見をつくる」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。〔(2)エ〕 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。〔(2)オ〕 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。〔B(1)イ〕 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。〔B(1)ウ〕 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。〔B(1)エ〕 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。</p> | <p>・指導事項：文章の比較（『無彩色』『白』）、引用の方法、論作文と自己・他者評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材：スライド、ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用等：LMS上のレポート学習、参考資料ファイル・動画の配信 | | | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。〔(2)エ〕 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めている。〔(2)オ〕 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。〔B(1)イ〕 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。〔B(1)ウ〕 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。〔B(1)エ〕 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>学習の見通しをもち、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。</p> | | | | | 3 |
| <p>E 単元「レポートの書き方を学ぶ」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。〔(2)エ〕 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。〔(2)オ〕 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。〔B(1)ア〕 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。〔B(1)イ〕 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。</p> | <p>・指導事項：レポートの構成、情報の集め方、有効な情報の選択、レポート案の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材：スライド、ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用等：LMS上のレポート学習、参考資料ファイル・動画の配信 | | | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。〔(2)エ〕 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めている。〔(2)オ〕 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。〔B(1)イ〕 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>学習の見通しをもち、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。</p> | | | | | 2 |
| <p>F 単元「分かりやすい説明・話し合い」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割 | <p>・指導事項：話し言葉と書き言葉。話の順序・構成、テーマに関する発表（発表者・聴衆者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材：スライド、ワークシート | | | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しきかなどに配慮した表現や言葉遣い | | | | | |

後期

| | | | | | |
|--|--|---|---|-------|----------|
| <p>・話し言葉と書き言葉の適切な区別、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。〔(1)イ〕</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。〔A(1)ウ〕 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。〔A(1)エ〕 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。</p> | <p>・教科、ハンドブック、ワークブック、レポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用等：LMS上のレポート学習、参考資料ファイル・動画の配信 | ○ | <p>黙読と視覚による理解した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。〔(1)イ〕</p> <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。〔A(1)ウ〕 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めている。〔A(1)エ〕 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>学習の見通しをもち、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて自分の考えをもつ中で、自らの学習を調整しようとしている。</p> | ○ ○ ○ | 3 |
| | | | | ○ ○ | |
| | | | | | 合計 16 |

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～8組

使用教科書：（新編 言語文化（東京書籍））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】国語における表現や技法を的確に理解し、文章の内容を適切に読み取ることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】古典や文学作品を読み解くことを通して、社会や自身の生き方に対する考えを深める。
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な文章を読むことを通して、自身の表現力や思考力を高めようとしている。

科目 言語文化 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| ・古典における文法や、現代文における表現等、言語に関する事項を的確に理解することができる。 ・作品に描かれる人物の心情などを、根拠を明らかにしながら読み解き、それを適切に説明する。 | 古典や現代の小説、詩歌、随筆などを的確に読み解くことを通して、社会や文化に対する考えを深め、より広い視野をもってものごとを判断する力を伸ばす。 | 作品に描かれる出来事や人物等を通して、現代に生きる自分自身や社会の有り様を見つめなおそうとする姿勢が見られる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 | |
|------|---|------------------------------|----|---|---|---|--|---|---|----------|---|
| | | | 語 | 書 | 読 | | | | | | |
| 前期 | A 単元 古典読解の基礎を理解する 【知識及び技能】 古文における単語の分類や、歴史的仮名遣いなどを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典を学び言語に対する考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言語と文化の関わりに興味を持つ。 | ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 | | | ○ | 【知識・技能】 古文を適切に読むことができる。 【思考・判断・表現】 古文作品の世界を深く読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 言語に対して興味をもって学習に取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 2 | |
| | B 単元 文学を味わう 【知識及び技能】 文学的な教養を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 豊かな表現を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章表現に興味をもつ。 | ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 | | ○ | ○ | 【知識・技能】 文学作品に関する知見が深められている。 【思考・判断・表現】 深い考えを、豊かに表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な文章作品を読もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 | |
| | C 単元 漢文の訓読 【知識及び技能】 漢文を適切に訓読する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を通して、社会に対する知見を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文が日本語に与えた影響を適切に理解しようとしている。 | ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 | | ○ | ○ | 【知識・技能】 漢文を適切に訓読できる。 【思考・判断・表現】 漢文の内容を的確に理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文と文化の結びつきを適切に理解している。 | ○ | ○ | ○ | 2 | |
| | D 単元 詩歌 【知識及び技能】 詩歌作品における技法などを適切に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の世界をより深く理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな言語文化を身に付ける。 | ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 | | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 詩歌の技法を適切に理解している。 【思考・判断・表現】 様々な作品に描かれている世界を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言語で豊かな文化的教養を身に付けている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 前期 | A 単元 古文の読みを深める 【知識及び技能】 用言の活用や、文法的意味合いを適切に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古文の的確な読みから考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の世界における人間観などを理解する。 | ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 | | ○ | ○ | 【知識・技能】 適切な文法理解を基に古文を適切に読むことができる。 【思考・判断・表現】 古文作品の世界を深く読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 古文に対して興味をもって学習に取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 2 | |
| | B 単元 漢文の読みを深める 【知識及び技能】 漢文を適切な文法理解を基に読解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を通して、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文と現代の社会を関連付けながら学ぶ。 | ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 | | ○ | ○ | 【知識・技能】 適切に漢文を読解することができる。 【思考・判断・表現】 漢文を通して、社会に対する考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文と現代社会を結びつけながら読み解いている。 | ○ | ○ | ○ | 2 | |
| | C 単元 文学作品を深く読む。 【知識及び技能】 文学作品を根拠を基に適切に読み解ける。 【思考力、判断力、表現力等】 文学を通して、自身に対する考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品を様々な視点から読み解こうとしている。 | ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 | | ○ | ○ | 【知識・技能】 文学作品を根拠を基に適切に読解している。 【思考・判断・表現】 文学を通してより考えを深められている。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な観点から文学作品を読んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 2 | |
| | D 単元 言語と文化の関わりを学ぶ 【知識及び技能】 様々な古今の文章を読み解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 言語を適切に使って、より深い考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言語と文化の関わりから、社会の在り方を考える。 | ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 | | ○ | | 【知識・技能】 様々な文章を適切に読み解くことができている。 【思考・判断・表現】 適切な表現を用いて、考えを深められている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言語を学ぶことを通して、社会や自身の生き方などに考えを巡らせている。 | ○ | ○ | ○ | 2 | |
| 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 | | |

東京都立新宿山吹高等学校 通信制課程 令和4年度 国語科 現代文B 年間授業計画

教科：国語 科目：現代文B 単位数：4単位

対象学年組：通信制生徒〔1組～8組（1年目～6年目の生徒）〕

使用教科書：標準 現代文B（第一学習社）

使用教材：（PC、学習書、プリント教材等）

| | 指導内容 | 科目〇〇の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|----|--|---|---|----------|
| 4月 | | | | |
| 5月 | 論理的に考える方法 文学的考察の方法（1）（2） 文脈を読み取る方法（1） | ○「論理」という概念を理解させる。 ○一文を要素分解して、本文中の他の情報と照らし合わせる読み方を身につけさせる。 ○仮説との整合性をとるために根拠となる情報を読み取る姿勢を身につけさせる。 ○主題や疑問点を創出するための読み方を身につけさせる。 ○主題語と主語や指示内容を整理して、明文化されていない内容を読み取る方法を身につけさせる。 | ①レポートの取組み状況 評価(ABCDE)〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。 | 4 |
| 6月 | 文脈を読み取る方法（2） 因果関係を読み取る方法 文学的表現の示唆性 抽象的な表現の効果（1） | ○旧情報と新情報を整理して文脈を読み取る方法を身につけさせる。 ○小説中の人物の内面・外面における因果関係を読み取る方法を身につけさせる。 意味を読み取る方法を身につけさせる。 ○詩における抽象的な表現がもつ効果を理解させようとして、詩の読解をさせる。 | ①レポートの取組み状況 評価(ABCDE)〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。 | 4 |
| 7月 | 抽象的な表現の効果（2） 名作「こころ」の読解 | ○詩における抽象的な表現がもつ効果を理解させようとして、詩の読解をさせる。 ○夏目漱石の人物像について理解させる。 ○「こころ」の内容について理解させる。 ○近代の文化と近代的自我について理解させる。 ○「こころ」の主題について考察させる。 | ①レポートの取組み状況 評価(ABCDE)〔知識〕 ②スクーリング〔関心・ 意欲・態度〕〔思考・判 断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。 | 2 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | 論理的に記述する方法（1） | ○設問文を分析して解答に必要な要素を明らかにする考え方を身につけさせる。 | | |

| | 指導内容 | 科目〇〇の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|--------------------------------|---|---|----------|
| 10月 | データを根拠に意見を述べる方法 類似関係を読み取る方法 | ○統計資料のデータを用いて自分の意見を述べさせる。 ○類似関係について理解させる。 ○語句、文単位で類似関係にある部分を文章中から読み取らせる。 | ①レポートの取組み状況 評価ABCDE) [知識] ②スクーリング [関心・ 意欲・態度] [思考・判 断・表現] ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。 | 4 |
| 11月 | 絵図を伴ったテキストの分析と言語化 文と文の関係 | ○絵図などの事物を構成する要素を分解しつつ、様々な語彙を用いて 言語化する方法を身につけさせる。 ○文と文の関係を言語化する方法を身につけさせる。 | ①レポートの取組み状況 評価ABCDE) [知識] ②スクーリング [関心・ 意欲・態度] [思考・判 断・表現] ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。 | 4 |
| 12月 | 上位語のはたらき 短歌・俳句の技法 | ○抽象的な上位語と下位語の互換性と包摂関係を理解させる。 ○短歌・俳句の制約と技法を理解させる。 ○与えられた条件に基づいて短歌・俳句を作らせる。 | ①レポートの取組み状況 評価ABCDE) [知識] ②スクーリング [関心・ 意欲・態度] [思考・判 断・表現] ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。 | 2 |
| 1月 | 論理的に記述する方法(2)(3) | ○設問文を分析して解答に必要な要素を明らかにする考え方を身につけさせる。 | ①レポートの取組み状況 評価ABCDE) [知識] ②スクーリング [関心・ 意欲・態度] [思考・判 断・表現] ③定期考査 上記①～③を総合的に評 価する。 | 2 |
| 2月 | | | | |
| 3月 | | | | |

東京都立新宿山吹高等学校 令和3年度 教科「国語」 科目「古典A」 年間授業計画

教 科：国語 科 目：古典A 単位数：2単位

対象学年組：1～6学年相当 1～8組

使用教科書：改訂版標準古典A（第一学習社）

使用教材：自作プリント、スライド

| | 指導内容 | 科目「古典A」の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|------------------------------|--|---|----------|
| 5月 | 古典作品と文化的背景を知る | 『古今著聞集』等の古典作品と当時の時代の関連を理解させる。 | スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。 | 1 |
| | 『伊勢物語』を読む（1） | ・歌物語の特徴を理解させる。 ・『伊勢物語』と文化的背景をとらえさせる。 | | 1 |
| 6月 | 『伊勢物語』を読む（2） | ・各章段における和歌の役割と位置づけについて考えさせる。 ・和歌の修辞技巧を理解させる。 | スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。 | 1 |
| | 随筆と現代のつながり（1） | ・『徒然草』の特徴を理解させる。 ・作品の主題と現代のつながりをとらえさせる。 | | 1 |
| 7月 | 品詞の種類と働き | 古文を読む上で必要となる文法事項を確認させる。 | スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。 | 1 |
| | 和歌の鑑賞（1） | ・和歌の修辞技巧を把握して鑑賞する方法を理解させる。 ・文化的背景を理解して作品への理解を深める。 | | 1 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | | | | |
| 10月 | 和歌の鑑賞（2） | ・和歌の修辞技巧を把握して鑑賞する方法を理解させる。 ・文化的背景を理解して作品への理解を深める。 | スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。 | 1 |
| | 随筆と現代のつながり（2） | ・『方丈記』の特徴を理解させる。 ・作品の主題と現代のつながりをとらえさせる。 | | 1 |
| 11月 | ・『枕草子』を読む ・古文文法の基本（1） | ・『枕草子』の特徴を理解させる。 ・作品理解に必要な文法事項を確認させる。 | スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。 | 1 |
| | 『源氏物語』を味わう（1） ・古文文法の基本（2） | ・『源氏物語』のあらすじを理解させる。 ・作品理解に必要な文法事項を確認させる。 | | 1 |
| 12月 | 『源氏物語』を味わう（2） | 平安期の文化を理解し、作品世界を理解する。 | スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。 | 1 |
| 1月 | 古典作品と芸能 | 古典作品と芸能を理解して古典に親しむ。 | スクーリングでの取り組み、レポートの内容及び定期考査の得点を総合的に評価する。 | 1 |
| 2月 | | | | |
| 3月 | | | | |

東京都立新宿山吹高等学校 通信制課程 令和4年度 国語 古典B 年間授業計画

教科：国語科 科目：古典B 単位数：4単位

対象学年組：通信制生徒〔1組～8組（1年目～6年目の生徒）〕

使用教科書：標準 古典B（第一学習社）

使用教材：（PC、学習書、プリント教材等）

| | 指導内容 | 科目〇〇の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|----|--------------------------|---|--|----------|
| 4月 | | | | |
| 5月 | 物語中の和歌の効果 名作「竹取物語」の読解 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○重要語句の意味を理解させる。 ○物語中に挿入されている和歌の持つ効果について理解させる。 ○竹取物語のあらすじを理解させる。 ○竹取物語の五人の貴公子の物語の主題について理解させる。 | ①レポートの取組み状況評価ABCDE)〔知識〕 ②スクーリング〔関心・意欲・態度〕〔思考・判断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評価する。 | 4 |
| 6月 | 訓読・故事成語 平安期の文化理解 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○重要語句の意味を理解させる。 ○訓読法の基礎を理解させる。 ○故事成語の成り立ちと里みを理解させる。 ○平安期の婚姻制度、貴族文化、宮廷文化について理解させる。 | ①レポートの取組み状況評価ABCDE)〔知識〕 ②スクーリング〔関心・意欲・態度〕〔思考・判断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評価する。 | 4 |
| 7月 | 和歌の技法と鑑賞法 用言の活用（1） | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○重要語句の意味を理解させる。 ○和歌の制約と技法について理解させる。 ○用言の活用について体系的に理解させる。 | ①レポートの取組み状況評価ABCDE)〔知識〕 ②スクーリング〔関心・意欲・態度〕〔思考・判断・表現〕 ③定期考査 上記①～③を総合的に評価する。 | 2 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | | | | |

| | 指導内容 | 科目〇〇の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|---------|--------------------------|---|---|----------|
| 10 月 | 名作「平家物語」の読解 漢詩の技法と鑑賞法 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○重要語句の意味を理解させる。 ○「平家物語」の内容と主題について理解させる。 ○「平家物語」と他作品を読み比べさせて、描かれ方について理解させる。 ○漢詩の制約と技法について理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ①レポートの取組み状況評価(ABCDE)〔知識〕 ②スクーリング〔関心・意欲・態度〕〔思考・判断・表現〕 ③定期考査 <p>上記①～③を総合的に評価する。</p> | 4 |
| 11 月 | 助動詞の用法と解釈 漢文句形の基礎 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○重要語句の意味を理解させる。 ○基本的な助動詞の意味と、文中での解釈の仕方について理解する。 ○再読文字と置字と二重否定の句形について理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ①レポートの取組み状況評価(ABCDE)〔知識〕 ②スクーリング〔関心・意欲・態度〕〔思考・判断・表現〕 ③定期考査 <p>上記①～③を総合的に評価する。</p> | 4 |
| 12 月 | 古文解釈の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○重要語句の意味を理解させる。 ○準体法や格助詞の用法などを理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ①レポートの取組み状況評価(ABCDE)〔知識〕 ②スクーリング〔関心・意欲・態度〕〔思考・判断・表現〕 ③定期考査 <p>上記①～③を総合的に評価する。</p> | 2 |
| 1 月 | 用言の活用(2) 名作「源氏物語」の読解 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な用言の活用について理解させる。 ○文を理解する上で必要になる文法事項について理解させる。 ○重要語句の意味を理解させる。 ○用言の活用について体系的に理解させる。 ○源氏物語の内容について理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ①レポートの取組み状況評価(ABCDE)〔知識〕 ②スクーリング〔関心・意欲・態度〕〔思考・判断・表現〕 ③定期考査 <p>上記①～③を総合的に評価する。</p> | 2 |
| 2 月 | | | | |
| 3 月 | | | | |

年間授業計画様式

東京都立新宿山吹高等学校 通信制課程 令和4年度 教科：地理歴史 科目：世界史B 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：世界史B 単位数：4単位

対象学年組：無学年

使用教科書：高校世界史B改訂版（山川出版社）

使用教材：明解世界史図説エスカリエ（帝国書院）・授業プリント 他

| | 指導内容 | 世界史Bの具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|----|--------------|--|---|----------|
| 4月 | | | | |
| 5月 | 古代オリエント | メソポタミアとエジプトの灌漑農業を基盤とした古代文明に関心をもたせる。 | レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。 | 1 |
| | 古代ギリシア、古代ローマ | エーゲ文明とポリスを中心とするギリシア文明の意義を探究するとともに、ローマ世界の特色についても学習する。 | | 2 |
| | 古代インド | バラモン教やヴァルナ制度、仏教の特徴についても理解を深める。 | | 1 |
| | 黄河文明 | 黄河・長江の新石器文明から殷・周の社会や文化の特質を追究していく。 | | 1 |
| 6月 | 漢帝国 | 漢帝国の社会や文化の特質を追究していく。 | レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。 | 1 |
| | 魏晋南北朝～唐 | 隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界の国家体制の整備やその動向を理解する。 | | 2 |
| | イスラーム世界 | ムハンマドの活動やイスラーム教の特質についての理解を深める。 | | 1 |
| | ゲルマン民族の侵入 | フランク王国とローマ教皇の提携の意義、ノルマン人などの諸民族侵入の影響について関心をもたせる。 | | 1 |
| | 中世後期のヨーロッパ | 西ヨーロッパ封建社会の変容、中世都市と商業の発展について理解する。 | | 1 |
| 7月 | 宋～元 | 宋の統治体制とモンゴル帝国の内陸アジア支配について考察を深める。 | レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。 | 1 |
| | 明～清 | 明朝の経済的繁栄と清朝が形成した広大な支配領域での統治について理解する。 | | 1 |
| | ルネサンス、宗教改革 | ルネサンスがもたらした芸術・思想・科学の変革の内容を理解する。また、ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応について | | 2 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | 前期のまとめ | これまで学んできた世界の歴史の大きな枠組みを把握させるとともに文化の多様性についても理解する。 | レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。 | 1 |

| | 指導内容 | 世界史Bの具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|---------|--------------------|---|---|----------|
| 10 月 | 産業革命・アメリカ独立革命 | イギリス産業革命の他国への広まりとアメリカ合衆国憲法による共和政について理解を深めさせる。 | レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。 | 1 |
| | フランス革命とナポレオン | ナポレオンが統領政府を建て、事実上の独裁権を握り、フランス革命が終了していく流れを把握する。 | | 1 |
| | ウィーン体制、イタリア・ドイツの統一 | ウィーン体制が崩壊し、列強の国内政策重視の状況がイタリア・ドイツ統一実現の背景となることを理解させる。 | | 2 |
| | 清朝の動揺とアヘン戦争 | イギリスによる三角貿易によって、清朝は銀の流出に苦しみ、アヘン戦争が勃発することに注目させる。 | | 1 |
| 月 | 帝国主義から第一次世界大戦へ | 第一次世界大戦勃発前、バルカン半島では帝国主義列強の政策や民族間の対立が錯綜していたことを理解させる。 | レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。 | 2 |
| | ロシア革命と戦間期の欧米 | 第一次世界大戦後の世界の基調は国際協調と軍縮にあった点を理解させる。 | | 2 |
| | ファシズムの台頭を第二次世界大戦 | 太平洋戦争の開始により第二次世界大戦が地球規模となってしまったことを理解させる。 | | 2 |
| 月 12 | 冷戦と雪どけ | 国際平和機関が作られたにもかかわらず、なぜ、冷戦と呼ばれる東西対立が生まれたのかを考察する。 | レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。 | 1 |
| | 戦後の第三世界 | アジア・アフリカの新興独立国が非同盟中立を掲げ、第三勢力として結集したことを理解する。 | | 1 |
| | 石油危機と世界経済の再編 | 途上国の工業化の開始、先進国側での地球環境問題の顕在化などに視点を向けさせる。 | | 2 |
| 1 月 | 後期のまとめ | これまで学んできた世界の歴史の大きな枠組みを把握させるとともに文化の多様性についても理解する。 | レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。 | 1 |
| 2 月 | | | | |
| 3 月 | | | | |

東京都立新宿山吹高等学校 通信制課程 令和4年度 教科 地理歴史 科目 日本史B 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：日本史B 単位数：4単位

対象学年組：(1組～8組、A組)

使用教科書：(新選 日本史B (東京書籍))

使用教材：(ワークシート、ICTパソコンなど)

| | 指導内容 | 科目 日本史Bの具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|----|------------------|--|---|----------|
| 4月 | | | | |
| 5月 | ○原始社会の生活と文化 | 旧石器文化、縄文文化の違いをふまえ、当時の暮らしや文化について知るとともに、当時の人々の暮らしについて考察する。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 |
| | ○農耕社会の形成と大陸文化の摂取 | 弥生文化の特徴について知るとともに、大陸から伝わった文化が人々の暮らしに与えた影響について考察する。 | | 1 |
| | ○飛鳥の朝廷、律令国家の成立 | 古墳時代、飛鳥時代の出来事について理解を深めるとともに、中央集権化の過程とそれを達成した要因について考察する。 | | 1 |
| | ○平城京と天平文化 | 奈良時代の政治史について理解を深めるとともに、国家と宗教の関係について考察を深める。 | | 1 |
| | ○平安遷都、摂関政治 | 平安時代の政治史について理解を深めるとともに、政治の権力者の移り変わりとなつた要因について考察する。 | | 1 |
| | ○院政と荘園、平氏政権 | 平安時代の土地制度史や政治史について理解を深めるとともに、武士の起こりとその要因などについて考察を深める。 | | 1 |
| 6月 | ○鎌倉幕府の誕生、執権による政治 | 鎌倉時代の政治史について理解を深めるとともに、当時の人々の暮らしや交流について考察を深める。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 |
| | ○元寇と社会の変貌 | 鎌倉時代後期の政治史について理解を深めるとともに、御家人社会の変貌とその要因について考察する。 | | 1 |
| | ○鎌倉仏教と文化 | 日本仏教史について理解を深めるとともに、それが人々に与えた影響について考察する。 | | 1 |
| | ○室町幕府の成立 | 鎌倉幕府の滅亡とその後の政治について、理解を深めるとともに、時代の特徴について考察を深める。 | | 1 |
| 7月 | ○倭寇と東アジアの交易 | 東アジアや沖縄、北方の歴史について理解を深めるとともに、それらの関係について考察を深める。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 |
| | ○下剋上の社会と戦国大名 | いわゆる戦国時代の歴史について理解を深めるとともに、当時の都市や人々の暮らしについて考察を深める。 | | 1 |
| | ○織豊政権による全国統一 | 織豊政権による全国統一の過程について理解を深めるとともに、彼らの政策の意図や影響について考察を深める。 | | 1 |
| | ○幕藩体制の成立 | 江戸幕府の成立とその支配について理解を深めるとともに、幕藩体制の成り立ちについて考察を深める。 | | 1 |
| | ○キリスト教禁止と鎖国 | 日本とキリスト教の関係等について理解を深めるとともに、宗教の与える影響等について考察を深める。 | | 1 |
| 8月 | | | | |

| | 指導内容 | 科目 日本史Bの具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|------------------|---|---|----------|
| 9月 | 定期考査 | | | 1 |
| 10月 | ○近世社会の発達と町人文化 | 当時の社会や文化について理解を深めるとともに、人々の暮らしや状況について考察を深める。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 |
| | ○幕藩体制の動揺と政治改革 | 江戸時代の政治改革等について理解を深めるとともに、その背景と影響について考察する。 | | 1 |
| | ○幕藩体制の危機 | 江戸時代の対外史について理解を深めるとともに、当時の人々の暮らしや文化について考察する。 | | 1 |
| | ○開国、幕府の滅亡 | 開国と幕府の滅亡の家庭について理解するとともに、近代国家の形成について考察を深める。 | | 1 |
| | ○統一国家の成立 | 新政府の樹立と諸制度について理解を深めるとともに、どのような国づくりが目指されたのかについて考察を深める。 | | 1 |
| | ○立憲政治の形成 | 立憲政治の形成の過程について理解を深めるとともに、その背景と影響について考察を深める。 | 1 | |
| 11月 | ○日清戦争と東アジアの変容 | 日清戦争の背景とその経過について理解を深めるとともに、それが人々やのちの歴史に与えた影響について考察する。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 |
| | ○日露戦争 | 日露戦争の背景とその経過について理解を深めるとともに、それが人々やのちの歴史に与えた影響について考察する。 | | 1 |
| | ○第一次世界大戦と日本 | 第一次世界大戦の際の日本の経過とその背景について理解を深めるとともに、その後の国際政治体制について考察する。 | | 1 |
| | ○日中戦争と国内体制の改編 | 日中戦争から太平洋戦争にかけての歴史について理解を深めるとともに、戦争へと進んでいった当時の社会について考察する。 | | 1 |
| 12月 | ○太平洋戦争 | 太平洋戦争の背景と経過について理解を深めるとともに、終結とその決断等について考察する。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 |
| | ○占領と国内改革 | 戦争の後の諸改革等について理解を深めるとともに、それが今日の社会に与える影響等について考察する。 | | 1 |
| | ○国際社会への復帰と高度経済成長 | 戦後の講和条約と対外史等について理解を深めるとともに、それが今日の社会に与える影響等について考察する。 | | 1 |
| | ○石油ショックと低成長の時代 | 高度経済成長後の歴史について理解を深めるとともに、それが今日の社会に与える影響等について考察する。 | | 1 |
| | ○新しい国際秩序と日本の課題 | 現代にかけての歴史や他国との関係について理解を深めるとともに、それが今日の社会に与える影響等について考察する。 | | 1 |
| 1月 | 定期考査 | | | 1 |
| 2月 | | | | |
| 3月 | | | | |

使用教科書： (公共 (東京書籍))

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】社会の担い手として、様々な事象について判断をするために必要な諸原理等について理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】よい生き方やよい社会について考察を深め、他者との対話的活動を通してそれらの表現を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】自分にとってよい生き方やよい社会とは何か、得た知識や他者の意見、先哲の考え等をふまえ自ら考えられる

科目 公共

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| 社会で起こる事象について自らよい悪いの判断を下せるようになるための基礎となる、諸原理等の知識や技能を身につける。 | 自分にとってよい生き方、よい社会とは何かという観点から、学んだ知識や共に学習する者同士の意見交換、先哲の考え、過去の経験等をふまえ、考察を深めるとともに、それをまた他者に伝えることができるようになる。 | 社会の担い手として、授業やレポートにとどまらず社会で起こる事象にアンテナを向け、それらについて自ら判断できるようになるための公民的資質を育成する。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|----|--|--|---|---|---|---|----------|
| 前期 | A 単元 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 青年期の特徴と課題や、日本の思想の特徴、功利主義や義務論、徳倫理などの考え方について、先哲の思想をふまえ理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとに、現代社会の諸課題や自己のライフプラン等に照らし合わせて、よい社会やよい人生について考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。 | ・指導事項 青年期の特徴と課題 日本の伝統と文化の中の人間共に生きるための倫理 ・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等 レポートを提出、添削等で用いる。 | 【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | B 単元 公共的な空間における基本的原理 【知識及び技能】 民主主義、立憲主義といった現代ではなんとなく分かっているような気になる考え方について、先哲の思想をふまえ理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 他者の意見をふまえ、改めてこれまでに学んできた用語について相対的に考えさせ、よい社会やよい人生について考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。 | ・指導事項 民主主義とは 立憲主義とは ・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等 レポートを提出、添削等で用いる。 | 【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | C 単元 民主政治と私たち 【知識及び技能】 民主政治の概要や意義について、先哲の思想やこれまの歴史をふまえ理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとに、よい社会やよい人生について考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。 | ・指導事項 民主政治と政治参加 ・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等 レポートを提出、添削等で用いる。 | 【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。 | ○ | ○ | ○ | 1 |
| | D 単元 法の働きと私たち 【知識及び技能】 司法制度や市民との関わりについて、これまでの歴史をふまえ、理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとに、現代社会の諸課題等について課題を出し、よい社会やよい人生について考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。 | ・指導事項 国民の司法参加 ・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等 レポートを提出、添削等で用いる。 | 【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|----|---|--|--|---|---|---|---|
| 前期 | A 単元 経済社会で生きる私たち 【知識及び技能】 経済に関する諸原理や、金融の働き、社会保障制度等について、先哲の思想をふまえて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸原理や諸制度について、これまでの経験等をもとに考察させ、よい社会やよい人生について表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。 | ・指導事項 現代の経済と市場 市場経済における金融の働き 持続可能な社会保障制度 ・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等 レポートを提出、添削等で用いる。 | 【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえてそれを精緻化し、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | B 単元 私たちの職業生活 【知識及び技能】 労働の意義や労働者の権利等について、先哲の思想をふまえて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの職業選択についての考察を深めさせ、よい社会やよい人生について考え、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。 | ・指導事項 私たちの職業生活 ・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等 レポートを提出、添削等で用いる。 | 【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえてそれを精緻化し、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。 | ○ | ○ | ○ | 1 |
| | C 単元 国際社会のなかで生きる私たち 【知識及び技能】 国際社会の成り立ちや歴史、グローバル化の意義と課題、現代の世界情勢について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとにし、現代社会の諸課題についての課題を出し、よい社会やよい人生について考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。 | ・指導事項 国際社会のルールと仕組み 国際社会と平和 グローバル化 ・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等 レポートを提出、添削等で用いる。 | 【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえてそれを精緻化し、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

合計

東京都立新宿山吹高等学校 通信制課程 令和4年度 教科 公民 科目 政治・経済 年間授業計画

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2単位

対象学年組：（1組～8組、A組）

使用教科書：（政治・経済（東京書籍））

使用教材：（ワークシート、ICTパソコンなど）

| | 指導内容 | 科目 日本史Bの具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|----|---|--|---|-------------|
| 4月 | | | | |
| 5月 | ○民主政治の基本原理 ○日本国憲法の制定と基本原則 | 「政治とは」「民主政治とは」という観点から、理想の社会のあり方について考察を深める。 日本国憲法で保障されるものについて理解を深めるとともに、憲法の意義等について考察する。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 1 |
| 6月 | ○基本的人権の保障、平和主義 ○日本の政治機構 ○現代政治の特質と課題 | 基本的人権とは何か、また戦後日本がどのように「平和」について考えてきたかについて理解し、考察を深める。 国会、内閣、裁判所の役割や、国民との関係について理解するとともに、考察を深める。 世論と政治の関係等について理解するとともに、メディアの役割等について考察を深める。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 1 1 |
| 7月 | ○戦後国際関係の展開と日本 ○国際政治の課題 | 戦後国際関係の展開について理解するとともに、現代の問題と照らし合わせながら考察を深める。 国際政治の役割と課題について理解するとともに、これからの世界について考察を深める。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 1 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | 定期考査 | | | 1 |

| | 指導内容 | 科目 日本史Bの具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|------------------------------------|---|---|-------------|
| 10月 | ○現代の資本主義経済 ○国民所得と経済成長 | 資本主義とは何か、などという観点から理想の社会のあり方について考察を深める。 国民所得等の概念について理解を深めるとともに、大きな経済の動きなどについても理解する。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 1 |
| 11月 | ○金融のしくみと機能 ○財政のしくみと機能 ○消費者問題 | 金融とは何か、またそれに関わる政策等について理解するとともに考察を深める。 財政の仕組みと機能について理解するとともに、日本の財政の課題について考察を深める。 消費者問題とはどのようなことかについて理解を深めるとともに、消費社会において、消費者自身に求められるものについて考察を深める。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 1 1 |
| 12月 | ○社会保障と福祉 ○貿易と国際収支 | 社会保障や福祉に関わる制度について理解を深めるとともに、その意義について考察する。 貿易の意義や国際経済についての歴史について理解するとともに、これからの世界について考察を深める。 | ①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。 | 1 1 |
| 1月 | 定期考査 | | | 1 |
| 2月 | | | | |
| 3月 | | | | |

使用教科書：（新数学 I 東京書籍）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】原理・法則・定理・公式などを理解し適用することで、課題を解決できる。

【思考力、判断力、表現力等】課題解決に必要な定理・公式を選択・判断し、答えを導く過程を正しく表現・処理することができる。

【学びに向かう力、人間性等】eレポートの提出基準日を守ることで、まなぶき掲載の学習資料を積極的に活用することができる。

科目 数学 I の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 基本的な原理・法則・定理などを理解し、それらを用いて、課題を解決することができる。 | 課題解決に必要な法則・定理・公式などを適切に選択し、それらを活用して、答えを導く過程を数学的に正しく表現・処理することができる。 | eレポートの提出基準日を守ることで、まなぶきの資料を活用すること、わからないことを質問することなど学びに向かう前向きな姿勢を育てることができる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|----|--|---|---|---|---|---|----------|
| 前期 | A 単元：数と式 【知識及び技能】 乗法公式・因数分解、根号を含む式の計算、数の分類、分数と小数、方程式と不等式を理解し、それらを用いて計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 公式を適切に選択し活用して因数分解をしたり、分配法則や乗法公式を活用して、式の計算過程を表現・処理できる。 【学びに向かう力、人間性等】 eレポートの提出基準日を守ることができる。 | ・指導事項：文字と式・実数・方程式と不等式 ・教材：教科書 スクーリングプリント ・一人1台端末の活用によるeレポートの取り組み、まなぶきに掲載する資料（スクーリングプリント・動画等）の活用を促す。 | 【知識・技能】 積や商の表し方、多項式と単項式、乗法公式、因数分解、平方根、根号を含む式の計算、分母の有理化、数の分類、分数と小数、1次方程式、不等式とその性質、2次方程式とその解き方、解の公式などを理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 法則や公式を課題に応じて適切に選択し、その過程を正しく表現・処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | B 単元：2次関数 【知識及び技能】 2次関数とそのグラフの性質、2次関数の値の変化を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の頂点の座標、y軸との交点の座標、軸の方程式などを正しく判断し、グラフを描くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。 | ・指導事項：2次関数とそのグラフ 2次関数の値の変化 ・教材：教科書、スクーリングプリント ・一人1台端末の活用によるeレポートの取り組み、まなぶきに掲載する資料（スクーリングプリント・動画等）の活用を促す。 | 【知識・技能】 関数とその値、座標、1次関数とグラフ、放物線、軸と頂点、平行移動、2次関数の式の変形から2次関数のグラフの頂点の座標、軸の方程式、y軸との交点の座標などを理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 2次関数の式の変形からグラフの頂点の座標や軸の方程式、y軸との交点の座標を判断することができる。グラフを正しく表現し、描くことができる。グラフを描くことで、2次関数の最大値・最小値や、2次不等式を2次関数のグラフとの関係から判断・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | 数と式・2次関数とそのグラフ | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|----|---|---|--|---|---|----|----|
| 後期 | A 単元：三角比 【知識及び技能】 三角形の性質や三平方の定理、三角比の定義を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比を利用して、身近な事象を考察・表現・処理することができる。三角比の性質や正弦定理、余弦定理などを選択、判断し、表現・処理することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。 | ・指導事項： 鋭角の三角比 三角比の応用 ・教材：教科書 スクーリングプリント ・一人1台端末の活用によるeレポートの取り組み、まなぶきに掲載する資料（スクーリングプリント・動画等）の活用を促す。 | 【知識・技能】 相似、三平方の定理、三角定規の3辺の比、三角比の定義、 30° 、 45° 、 60° の三角比、三角比の表、三角比の相互関係、 $90^\circ - A$ の三角比などを理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 三角形の面積や正弦定理、余弦定理を用いてその過程を正しく表現・処理することができる。鈍角まで拡張した三角比を用いて、鋭角の三角比で成り立った様々な相互関係や定理と結び付けて、課題解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | B 単元：データの分析 【知識及び技能】 データに基づく問題解決の進め方やデータの特徴の調べ方を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 度数分布表やヒストグラム、相対度数、代表値、分散と標準偏差、相関関係などから得られる事象を課題に合わせて、適切に判断し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。 | ・指導事項： データの分析 ・教材：教科書 スクーリングプリント ・一人1台端末の活用によるeレポートの取り組み、まなぶきに掲載する資料（スクーリングプリント・動画等）の活用を促す。 | 【知識・技能】 データに基づいた問題解決の進め方やデータの特徴の調べ方、度数分布表とヒストグラム、相対度数、代表値、四分位数と箱ひげ図などを理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 分散と標準偏差、相関関係、相関係数、データに基づく考え方を正しく表現・処理することができる。課題解決ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | C 単元：集合と論証 【知識及び技能】 集合と命題を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の概念を基に、事象を正確に捉え、表現・処理することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。 | ・指導事項： 集合と論証 ・教材：教科書 スクーリングプリント ・一人1台端末の活用によるeレポートの取り組み、まなぶきに掲載する資料（スクーリングプリント・動画等）の活用を促す。 | 【知識・技能】 部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合、空集合、命題と真・偽、反例、否定、対偶などを理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 必要条件、十分条件、命題と証明、背理法について、その過程を正しく表現・処理することができる。課題解決ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期試験 | 三角比・データの分析・ 集合と論証 | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | 合計 | 26 |

東京都立新宿山吹高等学校 通信制課程 令和4年度 教科 数学 科目 数学Ⅱ 年間授業計画

教科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：4単位
 対象学年組：通信制生徒〔1組～8組(1年目～6年目の生徒)〕、定時併修生、他校併修生

使用教科書：(東京書籍 新数学Ⅱ)
 使用教材：(学習書、プリント教材等)

| | 指導内容 | 具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|----|---|---|--|----------|
| 4月 | | | | |
| 5月 | [1章 方程式・式と証明] 2節 2次方程式 3節 高次方程式 4節 式と証明 [2章 図形と方程式] 1節 座標と直線の方程式 2節 円の方程式 | 2次方程式(判別式、解と係数の関係) 高次方程式(整式の除法、因数定理) 式と証明(等式の証明、不等式の証明) 座標と直線の方程式(直線上の点の座標、平面上の点の座標、直線の方程式、2直線の関係) 円の方程式、円と直線 | ◎レポートの取組み状況(評価ABCDE)で判断する。[知識・理解]※Eは再提出 【スクーリング】[関心・意欲・態度][数学的なものの見方や考え方] ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 4 |
| 6月 | [1章 方程式・式と証明] 2節 2次方程式 3節 高次方程式 4節 式と証明 [2章 図形と方程式] 1節 座標と直線の方程式 2節 円の方程式 | 2次方程式(判別式、解と係数の関係) 高次方程式(整式の除法、因数定理) 式と証明(等式の証明、不等式の証明) 座標と直線の方程式(直線上の点の座標、平面上の点の座標、直線の方程式、2直線の関係) 円の方程式、円と直線 | ◎レポートの取組み状況(評価ABCDE)で判断する。[知識・理解]※Eは再提出 【スクーリング】[関心・意欲・態度][数学的なものの見方や考え方] ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 4 |
| 7月 | [2章 図形と方程式] 2節 円の方程式 3節 不等式の表す領域 [3章 三角関数] 1節 三角関数 | 円の方程式、円と直線 不等式の表す領域、連立不等式の表す領域 三角関数(一般角、三角関数の定義) | ◎レポートの取組み状況(評価ABCDE)で判断する。[知識・理解]※Eは再提出 【スクーリング】[関心・意欲・態度][数学的なものの見方や考え方] ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 6 |
| 8月 | | | | |
| 9月 | [3章 三角関数] 1節 三角関数 | 三角関数(三角関数の相互関係、三角関数のグラフ) | ◎レポートの取組み状況(評価ABCDE)で判断する。[知識・理解]※Eは再提出 【スクーリング】[関心・意欲・態度][数学的なものの見方や考え方] ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 2 |

| | 指導内容 | 具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|---|--|--|----------|
| 10月 | 〔3章 三角関数〕 1節 三角関数 2節 加法定理 〔4章 指数関数と対数関数〕 1節 指数関数 | 三角関数（三角関数の性質、加法定理、加法定理の応用、弧度法） 指数関数（指数の拡張、累乗根、指数関数とそのグラフ） | ◎レポートの取組み状況（評価ABCDE）で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔数学的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 6 |
| 11月 | 〔4章 指数関数と対数関数〕 1節 指数関数 2節 対数関数 〔5章 微分と積分〕 1節 微分係数と導関数 | 対数関数（対数の性質、対数関数とそのグラフ、常用対数、底の変換公式） 微分係数と導関数（平均変化率、微分係数、導関数、接線、関数の増加・減少） | ◎レポートの取組み状況（評価ABCDE）で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔数学的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 6 |
| 12月 | 〔5章 微分と積分〕 2節 導関数の応用 3節 積分 | 導関数の応用（関数の極大・極小、関数の最大値・最小値） 積分（不定積分、定積分、面積） | ◎レポートの取組み状況（評価ABCDE）で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔数学的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 4 |
| 1月 | | | | |
| 2月 | | | | |
| 3月 | | | | |

東京都立新宿山吹高等学校 通信制課程 令和4年度 教科 数学 科目 数学B 年間授業計画

教科：数学 科目：数学B 単位数：2単位

対象学年組：通信制生徒〔1組～8組(1年目～6年目の生徒)〕、定時併修生、他校併修生

使用教科書：(東京書籍 数学B Standard)

使用教材：(プリント教材等)

| | 指導内容 | 具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|----|--------------------------|--|--|----------|
| 4月 | | | | |
| 5月 | 〔1章 数列〕 1節 数列 | 数列(数列と一般項、等差数列、等比数列) | ◎レポートの取組み状況(評価ABCDE)で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔学問的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 2 |
| 6月 | 〔1章 数列〕 2節 いろいろな数列の和 | いろいろな数列(和の記号 Σ 、いろいろな数列の和、階差数列) | ◎レポートの取組み状況(評価ABCDE)で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔学問的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 2 |
| 7月 | 〔1章 数列〕 3節 漸化式と数学的帰納法 | 漸化式、数学的帰納法 | ◎レポートの取組み状況(評価ABCDE)で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔学問的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 1 |
| 8月 | | | | |

| | 指導内容 | 具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|--|---|--|----------|
| 9月 | 前期のまとめ | 前期のまとめ・試験直前対策 | ◎レポートの取組み状況（評価ABCDE）で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔数学的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 1 |
| 10月 | 〔2章 ベクトル〕 1節 平面上のベクトル | 平面上のベクトル（有向線分とベクトル、ベクトルの計算、ベクトルの成分表示、成分表示されたベクトルの計算、ベクトルの内積、ベクトルのなす角） | ◎レポートの取組み状況（評価ABCDE）で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔数学的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 2 |
| 11月 | 〔2章 ベクトル〕 2節 ベクトルの応用 3節 空間におけるベクトル | ベクトルの応用（位置ベクトル、ベクトルと図形） 空間におけるベクトル（空間のベクトル、空間の座標とベクトル、空間のベクトルの内積） | ◎レポートの取組み状況（評価ABCDE）で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔数学的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 2 |
| 12月 | 〔2章 ベクトル〕 3節 空間におけるベクトル 後期のまとめ | 空間におけるベクトル（空間のベクトルと図形） 後期のまとめ・試験直前対策 | ◎レポートの取組み状況（評価ABCDE）で判断する。〔知識・理解〕※Eは再提出 【スクーリング】〔関心・意欲・態度〕〔数学的なものの見方や考え方〕 ◎毎時間プリントを配布する。 ○発問に答えようとする態度が見られるか。 ○演習に取り組む姿勢があるか。 ○基本的な知識・計算力があるか。 ○最後まで答えを導こうとする意欲・関心・態度があるか。 | 2 |
| 1月 | | | | |
| 2月 | | | | |
| 3月 | | | | |

高等学校 令和4年度（無学年用） 教科

外国語 科目 英語コミュニケーションI

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションI

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 無 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： (All Aboard English Communication I (東京書籍))

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

科目 英語コミュニケーションI の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| ・英語における文法や、慣用表現等、言語に関する事項を的確に理解することができる。 ・本文に描かれる人物の考え方を、根拠を明らかにしながら読み解き、それを適切に説明することができる。 | エッセーや海外の小説、物語、随筆などを的確に読み解くことを通して、国際社会や世界文化に対する考えを深め、より広い視野をもってものごとを判断する力を伸ばす。 | 作品や物語に描かれる出来事や人物等を通して、現代に生きる自分自身や社会の有り様を見つめなおそうとする姿勢が見られる。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | | 知 思 態 | 評価規準 | 配当 時数 |
|--|--|----|---|----------|----------|---|-------|--|----------|
| | | 聞 | 読 | 話 [や] | 話 [発] | 書 | | | |
| 英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を理解し、実際に使ってみる。 | アルファベットについて、その決まり事などを理解している。アルファベットを正しく認識し、書くことができる技能を身につけている。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| 辞書の使い方と役に立つ用語について学習する。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。 | 辞書の使い方、疑問詞について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる技能を身につけている。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| be動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。自分の名前・性格・特徴などを、be動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけている。 | be動詞 自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| 一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。自分の日常の行動や食べ物の好みなどを、一般動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけている。 | 一般動詞 自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| 教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うようとしている。 | 一般動詞 自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| 自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとしている。 | 文法のまとめ、演習問題 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| 過去形：世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 | Lesson1 過去形についての理解と定着 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| 過去形：好きな食べ物について、英語で述べるができる。 | Lesson1 過去形についての理解と定着 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| 進行形：(be動詞+動詞の-ing形) オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 | Lesson2 進行形、文の構造についての理解と定着 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|-------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|
| 前期 | 進行形： (be動詞+動詞の-ing形) 好きな動物について、英語で述べることができる。 | Lesson2 進行形、文の構造についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 助動詞：can, will 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。 | Lesson3 助動詞についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 助動詞：can, will ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。 | Lesson3 助動詞についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | to不定詞：(to+動詞の原形) 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 | Lesson4 to不定詞についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | to不定詞：(to+動詞の原形) 行ってみたい場所について、英語で述べることができる。 | Lesson4 to不定詞についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | be動詞と一般動詞/否定文と疑問文 | 文法のまとめ, 演習問題 | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 過去形/進行形 「『過去にしたこと』について伝える」 「『今していること』について説明する」 | 文法のまとめ, 演習問題 | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 助動詞can, willを用いた文の形・意味・用法 「自分ができることについて伝える」 | 文法のまとめ, 演習問題 | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|
| | to不定詞 (to+動詞の原形) を用いた文の形・意味・用法 「今週末にやりたいことについて伝える」 | 文法のみまとめ、演習問題 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 定期考査 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 動名詞：(動詞の-ing形) 高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。 | Lesson5 動名詞、接続詞についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 動名詞：(動詞の-ing形) 将来の夢について、英語で述べるができる。 | Lesson5 動名詞、接続詞についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 受け身：(be動詞+過去分詞) 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 | Lesson6 受動態についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 受け身：(be動詞+過去分詞) 好きな絵について、英語で述べるができる。 | Lesson6 受動態についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 動名詞 (動詞の-ing形) を用いた文の形・意味・用法 「先週末に楽しんだことについて伝える」 | 文法のみまとめ、演習問題 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 受け身 (be動詞+過去分詞) を用いた文の形・意味・用法 「人や物に焦点をあてて、『○○は…される』と説明する」 | 文法のみまとめ、演習問題 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 比較表現：(-er) (the -est) (as+原級+as) アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。 | Lesson7 比較表現についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 比較表現：(-er) (the -est) (as+原級+as) 関心のある人物について、英語で説明することができる。 | Lesson7 比較表現についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 現在完了形：(have[has]+過去分詞) 過去と現在のつながりについて説明する | Lesson8 現在完了形についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| 後期 | 現在完了形：(have[has]+過去分詞) 人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。 | Lesson8 現在完了形についての理解と定着 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | 比較表現 (-er) (the -est) (as+原級+as) を用いた文の形・意味・用法 「2つ以上のものを比べて説明する」 | 文法のみまとめ、演習問題 | | | | | | | | | | | | | | | | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |

年間授業計画様式

東京都立新宿山吹高等学校 通信制課程 令和4年度 教科：外国語 科目：コミュニケーション英語Ⅱ 年間授業計画

教科：外国語 科目：コミュニケーション英語Ⅱ 単位数：4単位
 対象学年組：無学年

使用教科書：All Aboard English Communication II (東京書籍)
 使用教材：English Communication II 学習書 (NHK出版)・授業プリン・音声CD、レポート 他

| | 指導内容 | English Communication II の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|----|---|--|--|----------|
| 4月 | | | | |
| 5月 | レポート1回(読解、表現、文法) Warm-UP, Pre-Lesson | 教室英語、Listening 教室英語・疑問詞 | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | レポート1回(読解、表現、文法) My Friend in Hawaii | Lesson1 比較表現・動名詞・、That's why についての理解と定着 | | 2 |
| | レポート2回(読解、表現、文法) Streetcars in My City | Lesson2 関係代名詞what、受け身についての理解と定着 | | 2 |
| | | | | |
| 6月 | レポート3回(読解、表現、文法) Crossing Language Barriers | Lesson3 現在完了・現在完了進行形についての理解と定着 | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | レポート4回(読解、表現、文法) The Spirit of the Forest | Lesson4 間接疑問文・形式主語についての理解と定着 | | 2 |
| | レポート5回(読解、表現、文法) Girl with the Pearl Earring | Lesson5 名詞を説明する現在分詞・過去分詞についての理解と定着 | | 2 |
| | レポート6回(読解、表現、文法) Grandchildren's Restaurant | Lesson6 不定詞を含む表現(want+O+to do等)についての理解と定着 | | 2 |
| | | | | |
| 7月 | レポート6回(読解、表現、文法) Reading 1 Mujima | Reading 1 筋を追って物語が読め、要約できる | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | | | | |
| 8月 | | | | |
| 9月 | レポート1～6回復習 Review Lesson | 前期学習事項の復習、前期試験対策 | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | | | | |

| | 指導内容 | English Communication II の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|---|---|---|----------|
| 10月 | レポート7回(読解、表現、文法) A Microcosm in the Sea | Lesson7 動詞の目的語となるif節とthat節についての理解と定着 | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価す | 2 |
| | レポート8回(読解、表現、文法) Wings of Music | Lesson8 関係代名詞の非制限的用法についての理解と定着 | | 2 |
| | レポート7～8回復習 Review Lesson | 文法のまとめ、後期前半学習事項の復習 | | 2 |
| | | | | |
| 11月 | レポート9回(読解、表現、文法) Magic of the Cotswolds | Lesson9 関係副詞where,whenについての理解と定着 | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価す | 2 |
| | レポート10回(読解、表現、文法) A Door to a New Life | Lesson10 知覚動詞についての理解と定着 | | 2 |
| | レポート11回(読解、表現、文法) Fighting Plastic Pollution | Lesson11 使役動詞についての理解と定着 | | 2 |
| | レポート12回(読解、表現、文法) Pigs from across the Sea | Lesson12 分詞構文についての理解と定着 | | 2 |
| | | | | |
| 12月 | レポート12回(読解、表現、文法) Olivia | Reading2 筋を追って物語が読め、要約できる | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価す | 2 |
| | レポート9～12回復習 Review Lesson | 文法のまとめ 後期後半学習事項の復習、後期試験対策 | | 2 |
| | | | | |
| 1月 | | | | |
| 2月 | | | | |
| 3月 | | | | |

年間授業計画様式

東京都立新宿山吹高等学校 通信制課程 令和4年度 教科：外国語 科目：コミュニケーション英語Ⅲ 年間授業計画

教科：外国語 科目：コミュニケーション英語Ⅲ 単位数：4単位

対象学年組：無学年

使用教科書：All Aboard English Communication III（東京書籍）・Revised Vision Quest English Expression I Standard（啓林館）

使用教材：・授業プリント・音声CD・レポート 他

| | 指導内容 | English Communication III の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|----|---|---|--|----------|
| 4月 | | | | |
| 5月 | レポート1回(読解、表現、文法) Mystery Circles under the Sea | Lesson1 動詞の現在形・過去形についての理解と定着 | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | レポート2回(読解、表現、文法) Gifts to Barcelona | Lesson2 現在完了・過去完了形についての理解と定着 | | 2 |
| | | | | |
| 6月 | レポート3回(読解、表現、文法) Images on Coins | Lesson3 不定詞・動名詞についての理解と定着 | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | レポート1～3回復習 Review Lesson | 前期前半学習事項の復習 | | 2 |
| | レポート4回(読解、表現、文法) Witnesses of War | Lesson4 受け身についての理解と定着 | | 2 |
| 7月 | レポート5回(読解、表現、文法) Love Letters | Lesson5 関係代名詞についての理解と定着 | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | レポート6回(読解、表現、文法) Reading 1 The Fun They Had | Reading 1 The Fun They Had 話の筋を追って物語が読め、その要約ができる | | 2 |
| | | | | |
| 8月 | | | | |
| 9月 | レポート4～6回復習 Review Lesson | 文法のまとめ・前期後半学習事項の復習、前期試験対策 | ①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | | | | |

| | 指導内容 | English Communication III の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|---------|--|--|----------------------|----------|
| 10 月 | | | ①スクーリングでの取組 | |
| | レポート7回(読解、表現、文法) The Natural Treasures of Ogasawara | Lesson6 仮定法過去についての理解と定着 | ②レポートの内容 ③定期考査の得点 | 2 |
| | レポート8回(読解、表現、文法) The Terracotta Warriors | Lesson7 関係代名詞の非制限的用法についての理解と定着 | 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | レポート9回(読解、表現、文法) The Journey of Our Clothes | Lesson8 前置・後置修飾、補語としての分詞についての理解と定着 | | 2 |
| 11 月 | | | ①スクーリングでの取組 | |
| | レポート10回(読解、表現、文法) Challenges for the Future | Lesson9 比較表現についての理解と定着 | ②レポートの内容 ③定期考査の得点 | 2 |
| | レポート11回(読解、表現、文法) The Story of Ruby Bridges | Lesson10 分詞構文についての理解と定着 | 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| 12 月 | | | ①スクーリングでの取組 | |
| | レポート12回(読解、表現、文法) Reading 2 Table for Two | Reading 2 Table for Two 話の筋を追って物語が読め、その要約ができる | ②レポートの内容 ③定期考査の得点 | 2 |
| | 総合演習 | 大学入試問題を時間内に解く | 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| 1 月 | | | ①スクーリングでの取組 | |
| | レポート7～12回復習 Review Lesson | 文法のまとめ・後期後半学習事項の復習、後期試験対策 | ②レポートの内容 ③定期考査の得点 | 2 |
| | | | 以上3点を総合的に評価する | |
| 2 月 | | | | |
| 3 月 | | | | |

高等学校 令和4年度（無学年用） 教科

外国語 科目 English Conversation

教科： 外国語 科目： English Conversation

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 無 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 東京書籍 Hello there! English Conversation ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語における4技能を通じて、相手の考えを理解し、自分の考えを伝えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】対話文やスピーチなどを通して、自国や外国の文化、社会、自身の生き方に対する考えを深める。

【学びに向かう力、人間性等】様々な英語の文章を聴き、読み、書き、話すことを通じて、自身の表現力や思考力を高めようとしている。

科目 English Conversation の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 英語を通じて、身近な話題について会話することができる。 各国・地域の伝統文化について積極的に話すことができる。 自分の価値観について積極的に話すことができる。 | 相手の発話を正しく聞き取って理解し、設問・問いかけに適切に反応することができる。 習慣や伝統に関する対話を聞き取り、話の流れと概要をつかむことができる。 スピーチを聞き取り、話の流れと概要をつかむことができる。 | 外国の文化や習慣について関心を持つことができる。 様々な意見を聞き分け、自分の意見との類似性および相違性を相対的に考えることができる。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | | 知 | 思 | 態 | 評価規準 | 配当 時数 |
|-------------|---|---|---|------------------|------------------|---|---|---|---|--|----------|
| | | 聞 | 読 | 話 「 や 」 | 話 「 発 」 | 書 | | | | | |
| 前期 | ●自分を紹介する●きき返す ●あいさつをする ●意味を尋ねる・説明する ・be動詞と一般動詞・短縮形 ・助動詞 (shall) ・文構造 | 1 Greeting 2 Orientation 3 Self-introduction 4 Pairwork activities | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | ●許可を求める・与える ●相手について尋ねる・答える ●リストアップする ・助動詞 (may) ・疑問詞を用いた疑問文 ・tooとeitherの使い分け | 1 Asking each other's favorites or hobbies 2 Pairwork activities | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | ●意見を言う ●リストアップする ・What+名詞を用いた疑問文 ・there is[are]～の構文 ・助動詞 (can) ・平叙文の語順での疑問文 | 1 Greeting 2 Orientation 3 Self-introduction | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | ●リストアップする ●興味・関心を伝える ●誘う・誘いを断る ・現在進行形 ・助動詞 (would / might) ・be going to do | 1 What you are crazy about 2 Pairwork activities | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | ●入国審査 相手の発話を正しく聞き取って理解し、設問・問いかけに適切に反応することができる。 | 1 Conversation at immigration 2 Pairwork activities | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | ●買い物 ・それぞれの活動の意図を理解し、ロールプレイなどに対して積極的に参加できる。 | 1 Conversation at shopping 2 Pairwork activities | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | ●買い物 ・買い物をする際に必要な表現を使うことができる。 ・商品が希望するものと違っていたとき対処するための表現を使うことができる。 | 1 Conversation at shopping 2 Pairwork activities | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |

| | | | | | | | | | | | | |
|----|--|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--|---|
| 後期 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの活動の意図を理解し、ロールプレイなどに対して積極的に参加できる。 ホテルを予約する際に必要な表現を使って積極的に話すことができる。 | 1 Review lesson 2 2 Pairwork activities | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 許可を求める・許可する / 許可しない 説明する 助動詞mayの用法・命令文 所有代名詞・否定詞notを含んだ疑問文 Isn' t it~? | 1 Talking about foods 2 Pairwork activities | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 同情する 事情を理解する 助言する 助動詞should 現在進行形(未来) 命令文 | 1 Talking about health 2 Pairwork activities | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 描写する 時間と距離・方向に関するitの用法 歴史年号の読み方 助動詞couldの用法 | 1 Talking about hometown 2 Pairwork activities | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 予定を尋ねる・答える 習慣を尋ねる 説明する 同格の(,)の用法 疑問文における省略 未来を表す現在進行形 | 1 Talking about traditional culture 2 Pairwork activities | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 感想・感情を述べる to不定詞 + that節 感嘆文 What a/an ~! 否定詞notを含む疑問文(復習) Why don' t you~? | 1 Talking about household chores 2 Pairwork activities | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 推測する・主張する 描写する 動名詞主語 (I guess) buying their products creates ... What is ~ like? | 1 Talking about foreign countries 2 Pairwork activities | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | <ul style="list-style-type: none"> レストランでの注文 それぞれの活動の意図を理解し、ロールプレイなどに対して積極的に参加できる。 | 1 Conversation at a restaurant 2 Pairwork activities | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 道案内 道案内をする際に必要な表現を理解し、使うことができる。 道を尋ねることができる。 お礼を言うことができる。 | 1 Conversation at a town 2 Pairwork activities | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ①スクーリングでの取組 ②発話態度と発表内容 ③レポートの内容 以上3点を総合的に評価する | 2 |

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目 家庭総合 単位数： 4 単位
 対象学年組： 第 1 学年 組～

使用教科書：（東京書籍『家庭総合 自立・共生・創造』）

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|--|
| 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 | 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|--|---|---|---|---|----------|
| 第1章 生涯を見通す 【知識及び技能】 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した自己の生活について考えさせ、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の生活設計について、課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。 | ・指導事項 人生を展望して、生涯を見通してライフプランをつくる ・教材 ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用 | 【知識及び技能】 ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| 第2章 人生をつくる 【知識及び技能】 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律について理解させる。 家族・家庭の意義について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を身に付けさせる。 | ・指導事項 社会の中の家族・家庭 ・教材 ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用 | 【知識及び技能】 ・家族・家庭の機能と家族関係について理解している。 ・家族・家庭と法律について理解している。 ・家族・家庭の意義について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |

| | | | | | | |
|--|---|---|----------|----------|----------|----------|
| <p>第3章 子どもと共に育つ</p> <p>【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援、子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p> | <p>・指導事項 子どもの育つ力を知る、子どもと遊び（壁面構成、おもちゃ制作）、子どもの食生活 ・教材 ワークシート、レポート、食材、画材、折り紙、妊婦模型 ・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解を深めている。 ・子供の遊びと文化について理解を深めている。 ・親の役割と保育について理解を深めている。 ・子育て支援について理解を深めている。 ・子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> | <p>○</p> | <p>○</p> | <p>○</p> | <p>8</p> |
| <p>第4章 超高齢社会を共に生きる</p> <p>【知識及び技能】 高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題、高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、高齢者福祉について理解を深めさせる。 高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p> | <p>・指導事項 高齢期の心身の特徴、介護実習 ・教材 ワークシート、レポート、高齢者疑似体験セット、車いす ・一人1台端末の活用</p> | <p>第4章 超高齢社会を共に生きる</p> <p>【知識及び技能】 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題、高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、高齢者福祉について理解を深める。 ・高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> | <p>○</p> | <p>○</p> | <p>○</p> | <p>4</p> |
| <p>第5章 共に生き、共に支える</p> <p>【知識及び技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解しさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p> | <p>・指導事項 社会保障の考え方 ・教材 ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】 ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> | <p>○</p> | <p>○</p> | <p>○</p> | <p>2</p> |

| | | | | | | |
|---|--|--|---|---|---|---|
| <p>第6章 食生活をつくる（前半）</p> <p>【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴、食品の栄養的特質、食品の調理上の性質、健康や環境に配慮した食生活について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p> | <p>・指導事項 食生活の課題、食事と栄養・食品 ・教材 ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。 ・食品の栄養的特質について理解している。 ・食品の調理上の性質について理解している。 ・健康や環境に配慮した食生活について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>第6章 食生活をつくる（前半）</p> <p>【知識及び技能】 食品衛生について理解させる。 自己や家族の食生活の計画・管理、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主体的に食生活を営むことができるよう日本の食文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p> | <p>・指導事項 日常食、郷土料理の調理実習 ・教材 ワークシート、レポート、食材 ・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】 ・食品衛生について理解している。 ・自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている ・目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に食生活を営むことができるよう日本の食文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| <p>第7章 衣生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 衣生活の自立に必要な技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p> | <p>・指導事項 ポケットティッシュ作りを通して補修の仕方 ・教材 ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】 ・衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |

| | | | | | | | |
|----|---|---|--|---|---|---|---|
| 後期 | <p>第8章 住生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 防災などの安全や環境に配慮した住居の機能、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む</p> | <p>・指導事項 快適で安全な住空間・住環境</p> <p>・教材 ワークシート、レポート、平面図、ハザードマップ</p> <p>・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】 ・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 ・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>第9章 経済生活を営む</p> <p>【知識及び技能】 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定、家計の構造、家計管理、生活における経済と社会との関わりについて理解させる。 ・生活情報を適切に収集・整理できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した消費者として、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・生活における経済の計画、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする力を育む</p> | <p>・指導事項 情報の収集・比較と意思決定、生涯の経済生活を見通す</p> <p>・教材 ワークシート、レポート、ゲーム</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識及び技能】 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解している。 ・生活情報を適切に収集・整理できる。 ・家計の構造について理解している。 ・家計管理について理解している。 ・生活における経済と社会との関わりについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した消費者として、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・生活における経済の計画、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | <p>第10章 持続可能な生活を営む</p> <p>【知識及び技能】 生活と環境との関わり、持続可能な消費、持続可能な社会へ参画することの意義について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p> | <p>・指導事項 ホームプロジェクト、エコッキング</p> <p>・教材 ワークシート、レポート、食材</p> <p>・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】 ・生活と環境との関わりについて理解している。 ・持続可能な消費について理解している。 ・持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | | | | ○ | ○ | | 1 |

合計

50